

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、 の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、 に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。

また、大問2には、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する問題を設定しています。

2													1				大問・領域等
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項													話すこと聞くこと				
(1)					(2)					(3)	(4)	(5)	(6)	出題			
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤					小問			
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	審			
														やや満足及び概ね満足できる解答状況			
														配			
														配			
														計			
2 5													2 5				

